

明確な業務の依頼はボランティアでいいのか

須藤 典夫 委員

問 町事業全体に関して有償ボランティア、無償ボランティアの基準となる定義はあるのか。スクールバスの見守りは責任の所在を明確にする為にも名称を付けた仕事として依頼するのが正しいのでは。

答 町長

ボランティアのはつきりとした基準はないが、今回の見守り業務は時給500円で想定しており今後の基準として有償ボランティアを広げていきたい。研究の



旧明安小見守隊顔合せ式

大規模基盤整備の進捗状況は

寒河江 宏一 委員

余地はあるが可能性を感じている。中高年の方々の時間を有効に活用して頂くことに繋げたい。

その他の質問

- 解体予定の中央公民館塗装工事はなぜかねやま広報林氏コラムについて
- 金山校生模擬議会への対応を前向きに

問 補助金事業に該当しない工事もあるそうだが、田茂沢蒲沢地区はどうか。また今後の管理についての説明を。

答 産業課長 補佐 田

茂沢蒲沢基盤整備については順調にスケジュールを消化している。今後の進捗により予算外の工事が発生した場合、町に予算化をお願いすることになるが、そうはならないと考える。管理に関して、三枝では開田組合が自主運営をしている。泉田川土地改良区に編入する選択もあるが地区で決めるものである。

その他の質問

- 育英会の返済状況と返済方法について
- 経常収支比率を下げするには



ほ場整備予定地

基金残高回復で財政状況は

栗田 保則 委員

問 財政運営基金10億円、基金全体で20億円を目標とした積み立てをクリアした。基金残高回復をみて今後の町政運営、事業見直しについての考えを伺う。

入学祝金事業でランドセル支給を

早坂 憲明 委員

問 小学校入学時、ランドセルの準備等はどのようにしているのか。コロナの影響や物価高騰で拡大する貧困格差で生じる心の負荷を解消するため、町がランドセルを一律で支給できないか。

答 健康福祉課子育て支援室長

ランドセルの準備は個人対応のため町で支援は行っていない。町長 事業見直しの中で入学祝金についても検討しているところ。導入してい



ランドセル

副町長の採用は

矢口 政一 委員

問 副町長を置いて県とのパイプを太くするなどの考えはないか伺う。

答 町長 現状において

は、副町長を置かないことでの仕事のスピード感や効率化が上回っていると感じている。



不在となっている副町長

現時点での明確な回答は難しく慎重に判断したい。

その他の質問

- 第3子を産める環境づくりは
- 高齢者用肺炎球菌予防接種について
- コロナワクチン接種率は
- ふるさと納税収益増を

答 町長 基金は現在

回復した状況にある。令和3年度は外的要因が強く基金の積み増しができたが、今後交付金は元に戻るとみている。予算編成の上でも基金を繰り出していく必要が考えられるため楽観はできない。

総合政策課財政係長

今後の基金の運用については応援基金の活用がポイントと考える。高速道路開通に向けた

事業、中央公民館跡地整備、グリーンバレーの動向が基金残高に影響してくる。今議会で挙げた学校施設整備基金への組み替えを除くと8億から9億の残高と見込んでいるが、うち5億は今後使用予定がある。

その他の質問

- ホットハウスカムロの方向性は
- 合併浄化槽を町管理で

基金の状況(決算審査意見書)		(単位：千円)		
【一般会計】		R3年度末	R2年度末	R1年度末
積立基金	財政運営基金	1,066,854	765,524	705,742
	減債基金	409,075	279,054	229,956
	資産活性基金	359,002	201,002	155,968
	かねやま清い心の町創造基金	7,263	7,263	7,446
	農林業振興基金	3,033	3,033	10,028
	かねやま応援基金	107,319	73,938	20,578
	すこやか基金	7,180	7,180	7,180
	森林環境譲与税基金	15,908	23,055	
積立基金合計		1,975,634	1,360,049	1,137,056
定額運用基金	土地開発基金(現金)	14,588	14,588	14,587
	肉用繁殖牛集団導入事業基金	7,520	8,342	7,423
	育英基金	84,936	69,899	64,647
一般会計合計		2,082,678	1,452,878	1,223,713
【特別会計】		R3年度末	R2年度末	R1年度末
介護保険給付基金		140,906	89,906	89,906
特別会計合計		140,906	89,906	89,906
総合計		2,223,584	1,542,784	1,313,620

決算審査意見積立金の状況

町民を守り、地域経済再生を

柴田 清正 委員

問 新型コロナ対策、防災などの観点から住民の安全を守り、地域経済を立て直して町民の生活の向上を図ることへの声が一層高まると思うが町長の意見を伺う。

答 町長 コロナ対策として、町民へのワクチン接種は概ね順調に進んできた。臨時交付金を活用して商工業者を支援した他、全町民に商品券を配布し経済の下支えを行った。米価下落でいち早く農家へも支援した。今後も臨時交付金の追加の段階で効果的な事業を行う。



3年ぶりの金山まつり